

日サ協発第24070005号  
2024年7月9日

関係各位

公益財団法人日本サッカー協会

2024年5月23日付(日サ協発第24050009号)をもって2024/25年サッカー競技規則の改正について、「2024/25年サッカー競技規則変更の概要と詳細(添付1)」、「2024/25年サッカー競技規則「脳振盪による交代(再出場なし)」の追加:実施手順(添付3)」の資料とともにお伝えしました。

改正の中で、「第3条-競技者 2. 交代の数 脳振盪による交代(再出場なし)の追加」、および「第4条-競技者の用具 2. 基本的な用具 アームバンド」における解釈について不明瞭な点がありました。国際サッカー評議会(IFAB)に問い合わせ、本協会にて下記のとおり整理しましたので、前回の通達とともにご確認いただけるようお願い申し上げます。

なお、2021年3月19日付(日サ協210073号)に発信された通達「サッカー競技規則第3条-競技者:交代の数における運用緩和について」を適用している競技会については、今回、「第3条-競技者 2. 交代の数 脳振盪による交代(再出場なし)の追加」に関する確認事項としてお伝えする内容は何ら影響するものではないことを申し添えます。

既に、各協会、連盟等において、発信済の通達について加盟クラブ、チーム、審判員等関係者に共有していただいている中ですが、本通達についても再度周知徹底を図られるようお願い申し上げます。

## 記

### 1. 「第3条-競技者 2. 交代の数 脳振盪による交代(再出場なし)の追加」:実施手順について

#### 確認事項

- ① **原則**:1試合において各チームは**最大1人の「脳振盪による交代」**ができる。
  - ・ たとえ、味方同士の間で頭部の接触があり、2人に脳振盪もしくはその疑いがあると判断されても、「脳振盪による交代」は「1人のみ」に適用される。
- ② **交代の回数**:チームが「脳振盪の交代」を行った場合、相手チームは1人の「追加の交代要員」を使うことができ、1回の「追加の交代」の機会を得る。この**追加の交代回数は、「追加の交代要員」のためにのみ使うことができ、「通常の交代要員」には使うことができない**。
  - ・ 相手チームの「脳振盪による交代」の使用により、「1人の追加の交代要員」とともに得られた「1回の追加の交代回数」は、「1人の追加の交代要員」のためにのみ使うことができる。
  - ・ たとえ、まだ使っていない交代要員(通常の交代要員)を残していたとしても、得られた「1回の追加の交代」の機会として、これらの交代要員を「1人の追加の交代要員」と同時に交代させることはできない。
- ③ **進め方**:チームが「脳振盪による交代」を行うこととした場合、できることならば異なる色の交代カードまたは用紙を用いて、主審/第4の審判員に知らせる。
  - ・ 相手チームの「脳振盪による交代」の使用により、得られた1人の追加の交代要員を、同時に

得られた「1回の追加の交代回数」として使う場合、「脳振盪の交代」と同様に、異なる色の交代カード/用紙を用いることで「通常の交代」とは違うことが明確となり混乱を避けることができる。

なお、交代回数を最大3回と規定される競技会は、競技規則第3条「2. 交代の数」において「トップディビジョンにおけるクラブのトップチームまたは各国の「A」代表チームが出場する男子と女子の競技会」と定められている。しかしながら、「その他の試合」では、関係チームが交代の最大人数について合意する、ことのみが定められており、交代の回数については規定されていない。したがって、競技会規定で交代回数を定められていない試合/競技会では、②で示した状況は起こり得ないため確認事項を考慮する必要はない。

## 2. 「第4条-競技者の用具 2. 基本的な用具 アームバンド」について

今回の改正により、「各チームには、フィールド上に(キャプテンとして)識別できるアームバンドを着用したキャプテンがいなければならない。」と定められ、チームキャプテンは次のようなアームバンドを着用しなければならない。

- ① 関連する競技会主催者によって用意されたアームバンド
- ② 関連する競技会主催者によって認められたアームバンド
- ③ チームが用意する場合、単色のアームバンドで、「Captain」という単語、もしくは「C」という文字やその翻訳された単語・文字(主将・主など)も入れることができるが、単色でなければならない。

### 【注意点】

- ・ チームが用意する場合、単色のアームバンドに単語や文字を入れることができるが「Captain」、「C」などに限定されている。また単語や文字の色は単色でなければならない。
- ・ 関連する競技会主催者が**用意する**アームバンド、または関連する競技会主催者が**認めた**アームバンドは、チームが用意する場合の「単色」や「CaptainやC」という単語や文字のみという制限はない。しかしながら、競技規則第4条「5. スローガン、メッセージ、イメージと広告」に基づいて競技会主催者が決定する。
- ✓ 競技会主催者が用意するアームバンドの例:FIFA、AFCなどが主催する競技会で、競技会のスローガン/メッセージや主催者のロゴを表示
- ✓ 競技会主催者が認めるアームバンドの例:ユニフォームスポンサーのロゴやスローガン/メッセージ

なお、グラスルーツの試合/競技会では、アームバンドの代用として、テープや包帯を使用することも可能である。アームバンドの着用目的はキャプテンを容易に特定することであるため、競技会関係者や審判員が素材や色などについて過度に厳しくならないように配慮すべきである。

(参考:「[選手の用具に関する運用緩和について](#)」)

以上